

[前画面へ戻る](#)

科目名	映像分析
科目名(英訳)	Visual Analysis
科目ナンバー	HI230C01
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	小川 順子
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:HI
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 小川 順子:水5-6
カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	コミュニケーション学科専門教育科目の中の文化情報デザイン基礎科目のうちの分析手法科目として位置づけられる。分析手法科目は、多様化するメディア文化情報を的確に分析するためのアプローチを身につけるための科目群である。本講義は、日常生活であまり意識しないで鑑賞している映像作品を丁寧に分析することで、映像リテラシーを養うと同時に、さまざまな映像作品に対して能動的な解釈ができる力を身につけるための科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ③:○ ④:◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 傾聴・受入力 / 専門的知識・技能 自立心 国際的な視野

授業の主旨 (概要)	複合メディアの時代となり、撮影や音楽の選択、編集などがたやすくなるようになった。だが、その反面、これまで無自覚に、あるいは無意識に触れてきた映像を反復する可能性も高い。そのような映像に対して、これまでさまざまな分析の方法論が確立され、適用されている。それら、分析のための用語や技法を理解する。																		
具体的 達成目標	本講義では、映像の基本的な知識や用語を踏まえ、確立された映画の文法を理解できる傾聴・受入力を身につける。かつ他の映像作品を調査し、情報収集する力をつけ、自ら応用できることを目標とする。																		
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>【内容】 以下は、あくまでも予定である。受講者数や受講者の理解度によっては、変更する場合がある。1. イントロダクション</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学修:事前】授業の主旨と具体的達成目標・授業の計画と方法・成績の評価方法と評価基準・参考文献等をシラバスで確認しておく。 【授業外学修:事後】イントロダクションの内容を振り返り、単位取得要件を確認する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【内容】 2. 映像の基礎知識と基礎理論(1) 基礎用語</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【内容】 3. 映像の基礎知識と基礎理論(2) ショット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【内容】 4. 映像の基礎知識と基礎理論(3) カメラと照明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【内容】 5. 映画の文法(1) ミザンセツ</td> </tr> </table>	1	【内容】 以下は、あくまでも予定である。受講者数や受講者の理解度によっては、変更する場合がある。1. イントロダクション		【授業外学修:事前】授業の主旨と具体的達成目標・授業の計画と方法・成績の評価方法と評価基準・参考文献等をシラバスで確認しておく。 【授業外学修:事後】イントロダクションの内容を振り返り、単位取得要件を確認する。	2	【内容】 2. 映像の基礎知識と基礎理論(1) 基礎用語		【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。	3	【内容】 3. 映像の基礎知識と基礎理論(2) ショット		【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。	4	【内容】 4. 映像の基礎知識と基礎理論(3) カメラと照明		【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。		【内容】 5. 映画の文法(1) ミザンセツ
1	【内容】 以下は、あくまでも予定である。受講者数や受講者の理解度によっては、変更する場合がある。1. イントロダクション																		
	【授業外学修:事前】授業の主旨と具体的達成目標・授業の計画と方法・成績の評価方法と評価基準・参考文献等をシラバスで確認しておく。 【授業外学修:事後】イントロダクションの内容を振り返り、単位取得要件を確認する。																		
2	【内容】 2. 映像の基礎知識と基礎理論(1) 基礎用語																		
	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。																		
3	【内容】 3. 映像の基礎知識と基礎理論(2) ショット																		
	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。																		
4	【内容】 4. 映像の基礎知識と基礎理論(3) カメラと照明																		
	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。																		
	【内容】 5. 映画の文法(1) ミザンセツ																		

授業計画	5	【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。			
	6	【内容】	6. 映画の文法(2) アングル			
		【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。			
	7	【内容】	7. 映画の文法(3) カメラワーク			
		【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。			
	8	【内容】	8. 前半のまとめ(理解度確認クイズ1)			
		【授業外学習】	【授業外学修:事前】講義前半の内容を復習し、クイズに備える。 【授業外学修:事後】クイズの答えを自分で確認する。			
	9	【内容】	9. 映画の文法(4) フォーカス			
		【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。			
	10	【内容】	10. 映画の文法(5) 編集			
		【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。			
	11	【内容】	11. 映画の文法(6) ポストプロダクション			
		【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。			
	12	【内容】	12. ショット分析(1) ショット分析とは			
		【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。			
13	【内容】	13. ショット分析(2) 映像作品例による解説				
	【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。				
14	【内容】	14. ショット分析(3) 映像作品例による実践				
	【授業外学習】	【授業外学修:事前】図書館にて参考文献に挙げられている書籍に目を通し、内容を確認しておく。 【授業外学修:事後】講義内容を振り返り、講義内で使用した映像以外の例を探し自ら講義内容を確認する。				
15	【内容】	15. 総括(理解度確認クイズ2)				
	【授業外学習】	【授業外学修:事前】講義後半の内容を復習し、クイズに備える。 【授業外学修:事後】クイズの答えを自分で確認する。				
授業方法	講義。 理解度確認クイズなどは適宜フィードバックする。					
成績の評価方法	授業中の課題(理解度確認クイズ1)、学期末の理解度確認クイズ2、期末課題、授業への取り組み姿勢をあわせて総合的に判断する。なお、出席に関しては遅刻2回を欠席1回と換算し、10回以上の出席を単位取得の前提条件とする。					
成績の評価基準	上記に記載した達成目標の90%以上の達成でS評価、80%以上でA評価、70%以上でB評価、60%に以上でC評価とする。					
教科書						
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『フィルム・アート:映画芸術入門』	ボードウェル, デイヴィッド, トンプソン, クリスティン	名古屋大学出版会	5184	
	2.	『映像技法のリテラシー:映像の法則』	ジァネッティ, ルイス	フィルムアート社	3456	
	3.	『映画の教科書』	モナコ, ジェイムズ	フィルムアート社	3780	
	4.	『映画の文法:日本映画のショット分析』	今泉容子	彩流社	3024	

	5.	『フィルム・スタディーズ事典:映画・映像用語のすべて』	ブランドフォード, スティーヴ、グラント, バリー・キース、ヒリアー, ジム	フィルムアート社	4644	
4	備考	参考資料、文献等は随時紹介、乃至指定する。				
4	関連ホームページ					
4	メールアドレス	小川 順子 swt5782@fsc.chubu.ac.jp				
4	オフィスアワー					

[前画面へ戻る](#)